

第 18 回リハビリテーション体育同窓会報告

平成 23 年 3 月 5 日および 3 月 6 日に大分県別府市にて第 18 回 RS 同窓会が開催されました。今回は地方の同窓会員も参加しやすいように大分県別府市にて開催し、15 名の会員が参加しました。

1 日目は国立別府重度障害者センターにて行いました。国立別府センターを見学の後、南立石公園に移動し、晴天のもと障害の程度にあわせたボッチャの展開の工夫について実技を通して考えました。集団指導の中で対象者の障害がさまざまな中、どのように工夫すると対象者の能力が存分に発揮され、魅力的な展開につながるのか。実際に身体を動かし、ボッチャに取り組む中で参加者が自ら考え、指導法に工夫を加えていきました。ボッチャも白熱し、RS ならではの盛り上がりを見せ、公園を散歩している一般の方も思わず足を止めるほどでした。定期総会では書籍「リハビリテーション体育」の発刊に関する質疑応答、次回同窓会の計画、平成 23 年度役員を選出などを行いました。

2 日目は社会福祉法人太陽の家にて行いました。太陽の家のスポーツの取り組み、所内の見学、23 年度第 1 回理事会を行いました。太陽の家トレーニングルームには、クライミングウォールが設置されており、介護予防事業の利用者に対してバランス強化を目的に取り組んでいるそうです。また、太陽の家歴史資料館を見学、故中村裕博士の偉業を目の当りにし、大分県別府市が障害者の自立した生活を目指す中心地となっていることを参加者は感じたことと思います。

当日の様子は RS Net に写真が掲載されていますのでご参照ください。

新会員代表挨拶

今春、19 期 2 名が卒業することができました。私たちは非常に少ない人数でしたが、多くの先生方に講義や実習をとおして個別的な指導を賜り、充実した学院生活を送ることができました。改めて、感謝申し上げます。

さて、私たちはこれからそれぞれのフィールドで精進していく所存ですが、社会人として現場経験のない私たちにとって、先輩方は非常に心強い存在です。困難に直面し、戸惑う場面では先輩方に何かとご相談させていただくことがあると思います。その際にはご指導、ご助言頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願ひ致します。

19 期代表 熊谷 俊介

平成 22 年度卒業生就職先

1. 石垣 祥子 「埼玉県ふじみ野市立 大井中学校」
2. 熊谷 俊介 「埼玉県総合リハビリテーションセンター 健康増進担当」

【理事会より連絡報告事項】

1. 平成 23 年度役員・各期代表理事

会長 岩淵典仁 (8 期)
副会長 小林岳雄 (13 期)、横田篤志 (14 期)、
監事 光吉直哉 (18 期)、熊谷俊介 (19 期)
事務局 会計係 (兼任) 梅崎多美 (2 期)
企画 久保田崇之 (13 期)、山下文弥 (18 期) 情報担当 安江徹太郎 (6 期)
通信部 RS ネット係 服部直充 (3 期)、安江徹太郎 (6 期)
通信係 山口裕輝 (18 期)、石垣祥子 (19 期)
各期代表理事

1 期：岸本恵美子、2 期：梅崎多美 3 期：服部直充 4 期：伊東千恵子
5 期：東昌代 6 期：大河原裕貴 7 期：久留島志保 8 期：岡留真由美
9 期：石村祐輔 10 期：遠藤晋 11 期：五十嵐正雄 12 期：江草朋樹
13 期：三浦雄高 14 期：横田篤志 15 期：秋山太郎 16 期：岩切三千代
17 期：寺本朋弘 18 期：山下文弥 19 期：熊谷俊介

2. 同窓会会員名簿発行

同窓会名簿は、個人情報保護の観点から、発送を役員、各期代表理事と名簿発送希望者として
います。役員、各期代表理事以外で同窓会会員名簿を希望する会員は、事務局の梅崎多美
([@rehab.go.jp](mailto:rehab.go.jp)) までご連絡をして下さい。

3. 平成 23 年度同窓会会費納入について

今年度も引き続き同窓会の企画運営にご理解を頂き、会費の納入にご協力をお願いします。な
お、今年度以前に何らかの理由で、納めていない会費についても納入の受付をしています。各自
の納入状況については、会計部の梅崎多美 (連絡先は上記参照) までご連絡をして下さい。納入
先は下記の通りです。

郵便局 口座番号 00170 1 112139
口座名義 リハビリテーション体育同窓会
年会費 3000 円

4. RS ネットホームページについて

会員の情報交換、同窓会からのお知らせ、その他ネットワークのために RS ネットをご活用く
ださい。第 18 回同窓会の様子も掲載されています。(<http://rsnet.mond.jp>)

過去に RS 同窓会発表会で発表された記事や他の学会、研究会などで発表された原稿や論文など
をお持ちの方はぜひお知らせ下さい。積極的な投稿をお待ちしています。詳細は、RS ネット係の
服部直充 ([@fat.coara.or.jp](mailto:fat.coara.or.jp)) までお尋ね下さい。

【編集後記】

このたびの東日本大震災で被害に遭われたみなさまに心よりご冥福をお祈りいたします。さらに被
災されました多くの方々にお見舞い申し上げます。阪神淡路大震災で同じような経験をされた方も多
くいらっしゃると思います。神戸の街が力強く復興したように、東北で被害を受けた街も神戸のよう
に復興をすることを切に願います。RS 同窓会としても震災の復興に対しても、社会情勢を視野に入れ
ながら RS として「今何ができるか」を考え、歩んでゆく必要があると感じています。

今後も RS 関係者で密な連携を取り、日本を明るくしていく 1 年になればと思います。

編集担当：横田篤志